

情報(2.1.1) A.情報開示

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集/企画/実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集/企画/実施/評価/報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析/改善を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) A.情報開示

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) A.情報開示

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:自社全体の知的財産に関する意識を高めた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) A.情報開示

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:自社全体の知的財産に関する意識を高めた)。
〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) A.情報開示

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:自社全体の知的財産に関する意識を高めた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) B.情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画/実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)/評価/報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集/企画/実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析/改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) B.情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) B.情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:戦略の企画案が実際に採用され、実行された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) B.情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:戦略の企画案が実際に採用され、実行された)。
〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) B.情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:戦略の企画案が実際に採用され、実行された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) C.システム

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集/企画(選定を含む)/実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析/改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2. 1. 1) C.システム

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。

2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) C.システム

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:小規模なシステムエラー等の発生に対して最短で是正して復帰させた。システムを長期間、安定稼働させた)。**[必須]**
2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) C.システム

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:小規模なシステムエラー等の発生に対して最短で是正して復帰させた。システムを長期間、安定稼働させた)。**[必須]**
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続に関する規定、諸外国における手続に関する規定)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

情報(2.1.1) C.システム

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:小規模なシステムエラー等の発生に対して最短で是正して復帰させた。システムを長期間、安定稼働させた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2) A.教育

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する情報収集(例:知財スキル標準, 社外研修情報, 検定・資格, e-Learning製品)／企画(例:知財スキル標準の導入, 社内研修と社外研修の組み合わせ案, 国内外の留学制度の創設／適切な講師の選定等)／実施／分析／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する現状分析(例:目標とする人材像の明確化と現状の人材像のギャップの定期的な確認)／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 人材教育関連業務に必要な知的財産関連法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 人材教育に関する実務(例:知財スキル標準, 人事考課制度, 人材マネジメント, 検定・資格, e-Learning製品, 知的財産関連研修の企画, 社内研修, 社外研修)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

教育関連業務に必要な技術(例:例:知財e-learning技術, インストラクショナルデザイン)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2. 1. 2)A.教育

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する情報収集(例: 知財スキル標準, 社外研修情報, 検定・資格, e-Learning製品)／企画(例: 知財スキル標準の導入, 社内研修と社外研修の組み合わせ案, 国内外の留学制度の創設／適切な講師の選定等)／実施／分析／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する現状分析(例: 目標とする人材像の明確化と現状の人材像のギャップの定期的な確認)／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

人材教育関連業務に必要な知的財産関連法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 人材教育に関する実務(例: 知財スキル標準, 人事考課制度, 人材マネジメント, 検定・資格, e-Learning製品, 知的財産関連研修の企画, 社内研修, 社外研修)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

教育関連業務に必要な技術(例: 例: 知財e-learning技術, インストラクショナルデザイン)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例: 50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2)A.教育

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する情報収集(例:知財スキル標準, 社外研修情報, 検定・資格, e-Learning製品)／企画(例:知財スキル標準の導入, 社内研修と社外研修の組み合わせ案, 国内外の留学制度の創設／適切な講師の選定等)／実施／分析／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する現状分析(例:目標とする人材像の明確化と現状の人材像のギャップの定期的な確認)／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:対象者の多数のスキルレベルが向上した。発明提案件数が増加した)。。[必須]
2. 経営層に対して知的財産教育を行った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 人材教育関連業務に必要な知的財産関連法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 人材教育に関する実務(例:知財スキル標準, 人事考課制度, 人材マネジメント, 検定・資格, e-Learning製品, 知的財産関連研修の企画, 社内研修, 社外研修)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

教育関連業務に必要な技術(例:例:知財e-learning技術, インストラクショナルデザイン)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
4. 関係者(例:経営層、技術部門)を納得させることができる(例:人材育成の必要性について)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2)A.教育

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する情報収集(例:知財スキル標準, 社外研修情報, 検定・資格, e-Learning製品)／企画(例:知財スキル標準の導入, 社内研修と社外研修の組み合わせ案, 国内外の留学制度の創設／適切な講師の選定等)／実施／分析／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する現状分析(例:目標とする人材像の明確化と現状の人材像のギャップの定期的な確認)／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:対象者の多数のスキルレベルが向上した。発明提案件数が増加した)。〔必須〕
2. 経営層に対して知的財産教育を行った。
3. 担当事業分野全体(例:当該分野の知的財産担当者・研究者・技術者全員)の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 人材教育関連業務に必要な知的財産関連法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 人材教育に関する実務(例:知財スキル標準, 人事考課制度, 人材マネジメント, 検定・資格, e-Learning製品, 知的財産関連研修の企画, 社内研修, 社外研修)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

教育関連業務に必要な技術(例:例:知財e-learning技術, インストラクショナルデザイン)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
4. 関係者(例:経営層、技術部門)を納得させることができる(例:人材育成の必要性について)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2)A.教育

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する情報収集(例:知財スキル標準, 社外研修情報, 検定・資格, e-Learning製品)／企画(例:知財スキル標準の導入, 社内研修と社外研修の組み合わせ案, 国内外の留学制度の創設／適切な講師の選定等)／実施／分析／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、知的財産担当者の育成に関する現状分析(例:目標とする人材像の明確化と現状の人材像のギャップの定期的な確認)／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略・知的財産戦略・人材育成戦略に沿って、技術者やクリエイターに対する知的財産教育の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:対象者の多数のスキルレベルが向上した。発明提案件数が増加した)。**[必須]**
2. 経営層に対して知的財産教育を行った。
3. 全社的規模(例:知的財産担当者全員対象、研究者・技術者全員対象)で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 人材教育関連業務に必要な知的財産関連法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 人材教育に関する実務(例:知財スキル標準, 人事考課制度, 人材マネジメント, 検定・資格, e-Learning製品, 知的財産関連研修の企画, 社内研修, 社外研修)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

教育関連業務に必要な技術(例:例:知財e-learning技術, インストラクショナルデザイン)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
4. 関係者(例:経営層、技術部門)を納得させることができる(例:人材育成の必要性について)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2) B.インセンティブ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 企業戦略に沿って、会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)に関する情報収集/企画/実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)の現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 会社の発明者・クリエイターとのインセンティブ制度を巡る係争について、判例や過去の類例を踏まえ、関係者と調整して解決した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. インセンティブ制度(例:職務発明制度)関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. インセンティブ制度に関する実務(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度, 人事考課制度)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2. 1. 2) B.インセンティブ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 企業戦略に沿って、会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 会社の発明者・クリエイターとのインセンティブ制度を巡る係争について、判例や過去の類例を踏まえ、関係者と調整して解決した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. インセンティブ制度(例:職務発明制度)関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. インセンティブ制度に関する実務(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度, 人事考課制度)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2) B.インセンティブ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 企業戦略に沿って、会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 会社の発明者・クリエイターとのインセンティブ制度を巡る係争について、判例や過去の類例を踏まえ、関係者と調整して解決した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:発明提案件数が増加した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. インセンティブ制度(例:職務発明制度)関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. インセンティブ制度に関する実務(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度, 人事考課制度)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
4. 関係者(例:技術者)を納得させることができる(例:対価の額について)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2.1.2) B.インセンティブ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 企業戦略に沿って、会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 会社の発明者・クリエイターとのインセンティブ制度を巡る係争について、判例や過去の類例を踏まえ、関係者と調整して解決した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:発明提案件数が増加した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. インセンティブ制度(例:職務発明制度)関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. インセンティブ制度に関する実務(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度, 人事考課制度)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
4. 関係者(例:技術者)を納得させることができる(例:対価の額について)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

人材(2. 1. 2) B.インセンティブ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 企業戦略に沿って、会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 会社の発明者・クリエイターへのインセンティブ制度(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 会社の発明者・クリエイターとのインセンティブ制度を巡る係争について、判例や過去の類例を踏まえ、関係者と調整して解決した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:発明提案件数が増加した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. インセンティブ制度(例:職務発明制度)関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. インセンティブ制度に関する実務(例:職務発明制度, 報奨金制度, フェロー制度, 人事考課制度)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
4. 関係者(例:技術者)を納得させることができる(例:対価の額について)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2.1.3) A.営業秘密

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理に関する情報収集、営業秘密管理指針の企画/実施(運用)/分析/指針作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理指針を評価/改善した。
3. 営業秘密管理指針に基づき、管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの営業秘密の管理に関する質問に対し、回答や助言を適切に行った。
5. 営業秘密管理に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 営業秘密関連業務に必要な法律(例:不正競争防止法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 営業秘密に関する実務(例:経済産業省の営業秘密管理指針, 自社の営業秘密管理体制)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)A.営業秘密

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理に関する情報収集、営業秘密管理指針の企画／実施(運用)／分析／指針作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理指針を評価／改善した。
3. 営業秘密管理指針に基づき、管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの営業秘密の管理に関する質問に対し、回答や助言を適切に行った。
5. 営業秘密管理に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 営業秘密関連業務に必要な法律(例:不正競争防止法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 営業秘密に関する実務(例:経済産業省の営業秘密管理指針、自社の営業秘密管理体制)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2.1.3)A.営業秘密

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理に関する情報収集、営業秘密管理指針の企画／実施(運用)／分析／指針作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理指針を評価／改善した。
3. 営業秘密管理指針に基づき、管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの営業秘密の管理に関する質問に対し、回答や助言を適切に行った。
5. 営業秘密管理に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:作成した指針が実際に採用され、実行された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 営業秘密関連業務に必要な法律(例:不正競争防止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 営業秘密に関する実務(例:経済産業省の営業秘密管理指針、自社の営業秘密管理体制)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)A.営業秘密

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理に関する情報収集、営業秘密管理指針の企画／実施(運用)／分析／指針作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理指針を評価／改善した。
3. 営業秘密管理指針に基づき、管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの営業秘密の管理に関する質問に対し、回答や助言を適切に行った。
5. 営業秘密管理に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:作成した指針が実際に採用され、実行された)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 営業秘密関連業務に必要な法律(例:不正競争防止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 営業秘密に関する実務(例:経済産業省の営業秘密管理指針、自社の営業秘密管理体制)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)A.営業秘密

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理に関する情報収集、営業秘密管理指針の企画／実施(運用)／分析／指針作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略・知的財産戦略・生産戦略に沿って、営業秘密管理指針を評価／改善した。
3. 営業秘密管理指針に基づき、管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの営業秘密の管理に関する質問に対し、回答や助言を適切に行った。
5. 営業秘密管理に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:作成した指針が実際に採用され、実行された)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 営業秘密関連業務に必要な法律(例:不正競争防止法)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 営業秘密に関する実務(例:経済産業省の営業秘密管理指針、自社の営業秘密管理体制)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)B.規程

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)の情報収集/規程作成/実施/評価を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に関して現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に基づき、規程を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの規程に関する質問に対し、適切な回答や助言を行った。
5. 規程に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 法務規程関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 民法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 規程に関する実務(例:職務発明規程, ライセンス管理規定, 権利管理規程, 契約管理規程, 服務規程, 就業規則)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)B.規程

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)の情報収集／規程作成／実施／評価を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に関して現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に基づき、規程を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの規程に関する質問に対し、適切な回答や助言を行った。
5. 規程に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 法務規程関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 民法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 規程に関する実務(例:職務発明規程, ライセンス管理規定, 権利管理規程, 契約管理規程, 服務規程, 就業規則)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)B.規程

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)の情報収集／規程作成／実施／評価を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に関して現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に基づき、規程を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの規程に関する質問に対し、適切な回答や助言を行った。
5. 規程に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:作成した規程が実際に採用され、実行された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 法務規程関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 民法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 規程に関する実務(例:職務発明規程, ライセンス管理規定, 権利管理規程, 契約管理規程, 服務規程, 就業規則)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2.1.3)B.規程

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)の情報収集／規程作成／実施／評価を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に関して現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に基づき、規程を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの規程に関する質問に対し、適切な回答や助言を行った。
5. 規程に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:作成した規程が実際に採用され、実行された)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 法務規程関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 民法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 規程に関する実務(例:職務発明規程, ライセンス管理規定, 権利管理規程, 契約管理規程, 服務規程, 就業規則)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)B.規程

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)の情報収集／規程作成／実施／評価を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に沿って、知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に関して現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産管理に関する規程(例:職務発明規程, ライセンス管理規程, 権利管理規程, 契約管理規程など)に基づき、規程を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. 関係者からの規程に関する質問に対し、適切な回答や助言を行った。
5. 規程に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:作成した規程が実際に採用され、実行された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 法務規程関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 民法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 規程に関する実務(例:職務発明規程, ライセンス管理規定, 権利管理規程, 契約管理規程, 服務規程, 就業規則)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる(例:管理の具体化を徹底できる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)C.法的審査

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の知的財産戦略・事業戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について条件的に有利な原案を作成して提示/交渉を成功裡に行った。
2. 知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について先方の原案に対して自社の知的財産戦略・事業戦略に有利な修正案を作成して提示/交渉を成功裡に行った。
3. 関係者からの知的財産関連の法律問題(例: 締結されている知的財産関連契約書の解釈・運用)について適切な回答や助言を行った。
4. 知的財産関連の契約書の雛型/チェックリストの作成/改善を適切に行った。
5. 法的審査に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 法的審査関連業務に必要な法律(例: 知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 法的審査に関する実務(例: 秘密保持契約/共同開発契約/ライセンス契約等の知的財産関連の契約, 関係者機関への届出, 検査体制)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(例: 英文ドラフト)を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)C.法的審査

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の知的財産戦略・事業戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について条件的に有利な原案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
2. 知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について先方の原案に対して自社の知的財産戦略・事業戦略に有利な修正案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
3. 関係者からの知的財産関連の法律問題(例: 締結されている知的財産関連契約書の解釈・運用)について適切な回答や助言を行った。
4. 知的財産関連の契約書の雛型／チェックリストの作成／改善を適切に行った。
5. 法的審査に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 法的審査関連業務に必要な法律(例: 知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 法的審査に関する実務(例: 秘密保持契約／共同開発契約／ライセンス契約等の知的財産関連の契約, 関係者機関への届出, 検査体制)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(例: 英文ドラフト)を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例: 50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)C.法的審査

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の知的財産戦略・事業戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について条件的に有利な原案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
2. 知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について先方の原案に対して自社の知的財産戦略・事業戦略に有利な修正案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
3. 関係者からの知的財産関連の法律問題(例: 締結されている知的財産関連契約書の解釈・運用)について適切な回答や助言を行った。
4. 知的財産関連の契約書の雛型／チェックリストの作成／改善を適切に行った。
5. 法的審査に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 独占禁止法に違反する疑いのある違法性の高い案件を未然に発見し、トラブルを防いだ。多数企業が集まるコンソーシアム活動において、当該コンソーシアムの活動に関する法的問題点について自社の意見を発信した)。[必須]
2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)全体に大きな影響を与えた。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 法的審査関連業務に必要な法律(例: 知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 法的審査に関する実務(例: 秘密保持契約／共同開発契約／ライセンス契約等の知的財産関連の契約, 関係者機関への届出, 検査体制)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(例: 英文ドラフト)を概ね(例: 60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例: 60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる(例: 契約の相手方に契約の修正について納得させる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)C.法的審査

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の知的財産戦略・事業戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について条件的に有利な原案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
2. 知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約, 共同開発契約, ライセンス契約等)について先方の原案に対して自社の知的財産戦略・事業戦略に有利な修正案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
3. 関係者からの知的財産関連の法律問題(例: 締結されている知的財産関連契約書の解釈・運用)について適切な回答や助言を行った。
4. 知的財産関連の契約書の雛型／チェックリストの作成／改善を適切に行った。
5. 法的審査に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 独占禁止法に違反する疑いのある違法性の高い案件を未然に発見し、トラブルを防いだ。多数企業が集まるコンソーシアム活動において、当該コンソーシアムの活動に関する法的問題点について自社の意見を発信した)。**[必須]**
2. 担当事業分野全体に大きな影響を与えた。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 法的審査関連業務に必要な法律(例: 知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 法的審査に関する実務(例: 秘密保持契約／共同開発契約／ライセンス契約等の知的財産関連の契約, 関係者機関への届出, 検査体制)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(例: 英文ドラフト)を正しく(例: 80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例: 80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる(例: 契約の相手方に契約の修正について納得させる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)C.法的審査

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の知的財産戦略・事業戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約、共同開発契約、ライセンス契約等)について条件的に有利な原案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
2. 知的財産関連の契約書(例: 秘密保持契約、共同開発契約、ライセンス契約等)について先方の原案に対して自社の知的財産戦略・事業戦略に有利な修正案を作成して提示／交渉を成功裡に行った。
3. 関係者からの知的財産関連の法律問題(例: 締結されている知的財産関連契約書の解釈・運用)について適切な回答や助言を行った。
4. 知的財産関連の契約書の雛型／チェックリストの作成／改善を適切に行った。
5. 法的審査に関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 独占禁止法に違反する疑いのある違法性の高い案件を未然に発見し、トラブルを防いだ。多数企業が集まるコンソーシアム活動において、当該コンソーシアムの活動に関する法的問題点について自社の意見を発信した)。[必須]
2. 事業に大きな影響を与えた(例: M&Aに伴う知的財産譲渡契約を締結した)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 法的審査関連業務に必要な法律(例: 知的財産法、独占禁止法、民法、刑法、民事訴訟法)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 法的審査に関する実務(例: 秘密保持契約／共同開発契約／ライセンス契約等の知的財産関連の契約、関係者機関への届出、検査体制)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(例: 英文ドラフト)を正しくかつ迅速に(例: 90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例: 90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる(例: 契約の相手方に契約の修正について納得させる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)D.法令情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)について、法改正や判例に関する情報収集/分析(例:自社が対応すべき優先課題を抽出)/報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)の情報収集に関する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 知的財産関連の法令・判例に関する関係者からの質問に対し、適切な回答や助言を行った。
4. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 法令情報収集・分析関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 法令情報収集・分析に関する実務(例:知的財産関連法の法改正・判例情報, 知財協への参加, 関連省庁の動向監視)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)D.法令情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)について、法改正や判例に関する情報収集／分析(例:自社が対応すべき優先課題を抽出)／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)の情報収集に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産関連の法令・判例に関する関係者からの質問に対し、適切な回答や助言を行った。
4. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 法令情報収集・分析関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 法令情報収集・分析に関する実務(例:知的財産関連法の法改正・判例情報, 知財協への参加, 関連省庁の動向監視)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)D.法令情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)について、法改正や判例に関する情報収集／分析(例:自社が対応すべき優先課題を抽出)／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)の情報収集に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産関連の法令・判例に関する関係者からの質問に対し、適切な回答や助言を行った。
4. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:作成した法改正対応マニュアルが実際に採用され、実行された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 法令情報収集・分析関連業務に必要な法律(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 法令情報収集・分析に関する実務(例:知的財産関連法の法改正・判例情報, 知財協への参加, 関連省庁の動向監視)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)D.法令情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)について、法改正や判例に関する情報収集／分析(例:自社が対応すべき優先課題を抽出)／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)の情報収集に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産関連の法令・判例に関する関係者からの質問に対し、適切な回答や助言を行った。
4. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:作成した法改正対応マニュアルが実際に採用され、実行された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 法令情報収集・分析関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 法令情報収集・分析に関する実務(例:知的財産関連法の法改正・判例情報, 知財協への参加, 関連省庁の動向監視)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を伝えることができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

法務(2. 1. 3)D.法令情報収集・分析

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)について、法改正や判例に関する情報収集／分析(例:自社が対応すべき優先課題を抽出)／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産関連法(例:産業財産権法, 著作権法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法等)の情報収集に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産関連の法令・判例に関する関係者からの質問に対し、適切な回答や助言を行った。
4. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:作成した規程が実際に採用され、実行された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 法令情報収集・分析関連業務に必要な法律(例:知的財産法, 独占禁止法, 民法, 刑法, 民事訴訟法)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 法令情報収集・分析に関する実務(例:知的財産関連法の法改正・判例情報, 知財協への参加, 関連省庁の動向監視)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集/抽出/報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求/損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定/回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定/回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約/提携関係にある会社(者)への差止請求/損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)/助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の基本的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:当該製品の年間売上のうち権利対象部分に相当する一定額(例:3%)を低減させた。自社側の主張を認めさせた。相手特許の無効を相手方に認めさせた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:交渉の相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:当該製品の年間売上のうち権利対象部分に相当する一定額(例:3%)を低減させた。自社側の主張を認めさせた。相手特許の無効を相手方に認めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:交渉の相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:当該製品の年間売上のうち権利対象部分に相当する一定額(例:3%)を低減させた。自社側の主張を認めさせた。相手特許の無効を相手方に認めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:交渉の相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集/企画/方針作成/評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した他社権利監視の実施/評価/報告書の作成を成功裡に行った。
4. Patent クリアランスに関する情報収集/企画/方針作成/評価を成功裡に行った。
5. Patent クリアランスに関する現状分析/改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した Patent クリアランスの実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準, 他社権利監視のための各種データベース, IPC, Fターム, FI等の専門用語)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、Patent マップ技術)の初歩的な事項を理解している。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. Patent クリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. Patent クリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した Patent クリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、Patent マップ技術)の基本的な事項を理解している。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. Patent クリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. Patent クリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した Patent クリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 製品に搭載された新技術／改良技術についてSDIIによる監視設定を行い、検討すべき競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、競合他社の製品の定期的なウォッチングにより、自社製品に無い新技術／改良技術にあたる当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、権利監視の結果が情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、Patent マップに基づいて特許戦略が策定された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例: 特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例: 新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例: 自社製品及び関連する他社製品の技術、Patent マップ技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例: 英語)の情報を概ね(例: 60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例: 技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. Patent クリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. Patent クリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した Patent クリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 製品に搭載された新技術／改良技術についてSDIIによる監視設定を行い、検討すべき競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、競合他社の製品の定期的なウォッチングにより、自社製品に無い新技術／改良技術にあたる当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、権利監視の結果が情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、Patent マップに基づいて特許戦略が策定された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例: 特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例: 新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例: 自社製品及び関連する他社製品の技術、Patent マップ技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例: 英語)の情報を正しく理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例: 技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. Patent クリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. Patent クリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した Patent クリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:製品に搭載された新技術／改良技術についてSDIIによる監視設定を行い、検討すべき競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、競合他社の製品の定期的なウォッチングにより、自社製品に無い新技術／改良技術にあたる当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、権利監視の結果が情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、Patent マップに基づいて特許戦略が策定された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、Patent マップ技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析/情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析/無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析/交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用权、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の初歩的な事項を理解している(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用权、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の基本的な事項を理解している(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:自社の主張を認めさせた。自社製品の非侵害を特許権者に納得させた。特許の無効を相手側に認めさせた。特許権の技術範囲を縮小させて自社製品から外れるようにした)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解することができる(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:自社の主張を認めさせた。自社製品の非侵害を特許権者に納得させた。特許の無効を相手側に認めさせた。特許権の技術範囲を縮小させて自社製品から外れるようにした)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:自社の主張を認めさせた。自社製品の非侵害を特許権者に納得させた。特許の無効を相手側に認めさせた。特許権の技術範囲を縮小させて自社製品から外れるようにした)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集/企画/方針作成/運用/評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:交渉によってブランドの不適正使用を止めさせた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 事業に大きな影響を与えるブランドの不適正使用に対処した。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を發した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:交渉によってブランドの不適正使用を止めさせた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 事業に大きな影響を与えるブランドの不適正使用に対処した。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:交渉によってブランドの不適正使用を止めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 事業に大きな影響を与えるブランドの不適正使用に対処した。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) A.策定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 会社の財務状況、過去の予算・実績等を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算/補償金予算/ライセンスフィ/人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。
2. 中長期的なコスト低減を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算/補償金予算/ライセンスフィ/人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等(例:特に中長期戦略)の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 予算策定業務に必要な法律(例:知的財産法, 会社法, 税法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 予算策定に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:経理部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:経理部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:経理部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) A.策定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 会社の財務状況、過去の予算・実績等を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。
2. 中長期的なコスト低減を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等(例:特に中長期戦略)の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 予算策定業務に必要な法律(例:知的財産法, 会社法, 税法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 予算策定に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:経理部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:経理部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:経理部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) A.策定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 会社の財務状況、過去の予算・実績等を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。
2. 中長期的なコスト低減を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:作成した予算案が実際に採用され、実行された)。〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等(例:特に中長期戦略)の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 予算策定業務に必要な法律(例:知的財産法, 会社法, 税法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 予算策定に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:経理部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:経理部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:経理部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:経理部門)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) A.策定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 会社の財務状況、過去の予算・実績等を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。
2. 中長期的なコスト低減を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:作成した予算案が実際に採用され、実行された)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等(例:特に中長期戦略)の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 予算策定業務に必要な法律(例:知的財産法, 会社法, 税法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 予算策定に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:経理部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:経理部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:経理部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:経理部門)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) A.策定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 会社の財務状況、過去の予算・実績等を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。
2. 中長期的なコスト低減を勘案しつつ、知的財産戦略を実現する予算案(例:出願予算／補償金予算／ライセンスフィ／人材育成・補強予算等)の作成を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:作成した予算案が実際に採用され、実行された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等(例:特に中長期戦略)の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 予算策定業務に必要な法律(例:知的財産法, 会社法, 税法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 予算策定に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:経理部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:経理部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:経理部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:経理部門)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) B.管理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 策定された予算の管理(例:出納の適切性の確認)について実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 部門別、要素別に予算と実績の差異分析を行い、翌期の予算策定へのフィードバックを成功裡に行った。
3. ロイヤリティ監査に関する情報収集/監査実施/評価を成功裡に行った。
4. 事情変更に伴う予算変更に適切に対応した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 予算管理業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 予算管理に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) B.管理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 策定された予算の管理(例:出納の適切性の確認)について実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 部門別、要素別に予算と実績の差異分析を行い、翌期の予算策定へのフィードバックを成功裡に行った。
3. ロイヤリティ監査に関する情報収集／監査実施／評価を成功裡に行った。
4. 事情変更に伴う予算変更に適切に対応した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 予算管理業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 予算管理に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) B.管理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 策定された予算の管理(例:出納の適切性の確認)について実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 部門別、要素別に予算と実績の差異分析を行い、翌期の予算策定へのフィードバックを成功裡に行った。
3. ロイヤリティ監査に関する情報収集／監査実施／評価を成功裡に行った。
4. 事情変更に伴う予算変更に適切に対応した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:問題点を発見し、翌期のコスト削減／ロイヤリティ収入増に結びついた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 予算管理業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 予算管理に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:部門内)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) B.管理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 策定された予算の管理(例:出納の適切性の確認)について実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 部門別、要素別に予算と実績の差異分析を行い、翌期の予算策定へのフィードバックを成功裡に行った。
3. ロイヤリティ監査に関する情報収集／監査実施／評価を成功裡に行った。
4. 事情変更に伴う予算変更適切に対応した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:問題点を発見し、翌期のコスト削減／ロイヤリティ収入増に結びついた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 予算管理業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 予算管理に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:部門内)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) B.管理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 策定された予算の管理(例:出納の適切性の確認)について実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 部門別、要素別に予算と実績の差異分析を行い、翌期の予算策定へのフィードバックを成功裡に行った。
3. ロイヤリティ監査に関する情報収集／監査実施／評価を成功裡に行った。
4. 事情変更に伴う予算変更に適切に対応した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:問題点を発見し、翌期のコスト削減／ロイヤリティ収入増に結びついた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 予算管理業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 予算管理に関する実務(例:財務諸表, 管理会計)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:部門内)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) C.資金調達

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託/証券化/担保化等による資金調達に関する情報収集(例:リスクとリターンの分析)/企画を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託/証券化/担保化等について金融機関等と連携して資金調達を実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託/証券化/担保化等による資金調達の現状分析/改善を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 資金調達業務に必要な法律(例:知的財産法, 信託法, 税法, 商法の匿名組合に関する規定, ファンド法, LLP法, 資産流動化法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 資金調達に関する実務(例:信託/証券化/担保化による資金調達スキーム, 自社商品全般の法的権利関係, 価値評価手法)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:金融機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:金融機関)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:金融機関)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) C.資金調達

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達に関する情報収集(例:リスクとリターンの分析)／企画を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等について金融機関等と連携して資金調達を実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 資金調達業務に必要な法律(例:知的財産法, 信託法, 税法, 商法の匿名組合に関する規定, ファンド法, LLP法, 資産流動化法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 資金調達に関する実務(例:信託／証券化／担保化による資金調達スキーム, 自社商品全般の法的権利関係, 価値評価手法)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:金融機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:金融機関)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:金融機関)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) C.資金調達

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達に関する情報収集(例:リスクとリターンの分析)／企画を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等について金融機関等と連携して資金調達を実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:実際の資金調達額が資本金の一定額(例:5%)以上)。
〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 資金調達業務に必要な法律(例:知的財産法, 信託法, 税法, 商法の匿名組合に関する規定, ファンド法, LLP法, 資産流動化法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 資金調達に関する実務(例:信託／証券化／担保化による資金調達スキーム, 自社商品全般の法的権利関係, 価値評価手法)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:金融機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:金融機関)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:金融機関)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:金融機関)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) C.資金調達

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達に関する情報収集(例:リスクとリターンの分析)／企画を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等について金融機関等と連携して資金調達を実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:実際の資金調達額が資本金の一定額(例:5%)以上)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 資金調達業務に必要な法律(例:知的財産法, 信託法, 税法, 商法の匿名組合に関する規定, ファンド法, LLP法, 資産流動化法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 資金調達に関する実務(例:信託／証券化／担保化による資金調達スキーム, 自社商品全般の法的権利関係, 価値評価手法)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:金融機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:金融機関)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:金融機関)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:金融機関)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

予算(2.1.5) C.資金調達

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達に関する情報収集(例:リスクとリターン分析)／企画を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等について金融機関等と連携して資金調達を実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、知的財産権の信託／証券化／担保化等による資金調達の現状分析／改善を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:実際の資金調達額が資本金の一定額(例:5%)以上)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 資金調達業務に必要な法律(例:知的財産法, 信託法, 税法, 商法の匿名組合に関する規定, ファンド法, LLP法, 資産流動化法等)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 資金調達に関する実務(例:信託／証券化／担保化による資金調達スキーム, 自社商品全般の法的権利関係, 価値評価手法)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:金融機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:金融機関)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:金融機関)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:金融機関)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2.1.6)A.調査会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、調査会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野のサーチャ人材の豊富さ, 調査経費・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)/企画/実施(例:NDAを締結した上での特許, 意匠, 商標, 学術文献, パテントマップ等の調査)/評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 調査会社への戦略的アウトソーシングに対する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 調査コストの管理(例:最小限化, 少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(調査会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:調査会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

調査会社が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:アウトソース先)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:アウトソース先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)A.調査会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、調査会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野のサーチャ人材の豊富さ, 調査経費・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での特許, 意匠, 商標, 学術文献, パテントマップ等の調査)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 調査会社への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 調査コストの管理(例:最小限化、少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(調査会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:調査会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

調査会社が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において最低限の範囲で(例:50%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:アウトソース先)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:アウトソース先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)A.調査会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、調査会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野のサーチャ人材の豊富さ, 調査経費・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での特許, 意匠, 商標, 学術文献, パテントマップ等の調査)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 調査会社への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 調査コストの管理(例:最小限化、少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:調査結果から他社権利排除に結びついた, 調査結果から係争を和解に導いた)。**[必須]**
2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(調査会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:調査会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

調査会社が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において概ね(例:60～70%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:アウトソース先)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:アウトソース先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:アウトソース先)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)A.調査会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、調査会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野のサーチャ人材の豊富さ, 調査経費・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での特許, 意匠, 商標, 学術文献, パテントマップ等の調査)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 調査会社への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 調査コストの管理(例:最小限化、少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:調査結果から他社権利排除に結びついた, 調査結果から係争を和解に導いた)。**[必須]**
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. アウトソーシング業務(調査会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:調査会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

調査会社が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において正しく(例:80%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:アウトソース先)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:アウトソース先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:アウトソース先)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)A.調査会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、調査会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野のサーチャ人材の豊富さ, 調査経費・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での特許, 意匠, 商標, 学術文献, パテントマップ等の調査)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 調査会社への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 調査コストの管理(例:最小限化、少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:調査結果から他社権利排除に結びついた, 調査結果から係争を和解に導いた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. アウトソーシング業務(調査会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:調査会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

調査会社が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において正しくかつ流暢に(例:90%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:アウトソース先)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:アウトソース先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:アウトソース先)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)B.特許事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、特許事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の事務所の使い分け)のための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)/企画/実施(例:出願, 中間処理等の依頼)/評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 特許事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④, ⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(特許事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:特許事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

特許事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:特許事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)B.特許事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、特許事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の事務所の使い分け)のための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:出願, 中間処理等の依頼)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 特許事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④, ⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(特許事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:特許事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の基本的な事項(例:重要なもののみ, 実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

特許事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において最低限の範囲で(例:50%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:特許事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2.1.6)B.特許事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、特許事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の事務所の使い分け)のための情報収集(例:事務所の経営方針、所長、得意分野、コンフリクトの有無、専門分野の人材の豊富さ、報酬・案件相場、年間処理件数、秘密情報管理体制、事務・期限管理体制、品質、評判)／企画／実施(例:出願、中間処理等の依頼)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 特許事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化、少なくとも月ベースの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:戦略上重要な特許を当該事務所と連携して権利化に成功した、当該事務所経由の権利がライセンス収入に結びついた、当該事務所の鑑定書によって他社権利排除に結びつけた、当該事務所と連携して係争を和解に導いた)。**[必須]**
2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④、⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(特許事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:特許事務所への戦略的アウトソーシング、進捗管理、コスト管理、品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

特許事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において概ね(例:60～70%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:特許事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:特許事務所)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)B.特許事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、特許事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の事務所の使い分け)のための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:出願, 中間処理等の依頼)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 特許事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:戦略上重要な特許を当該事務所と連携して権利化に成功した, 当該事務所経由の権利がライセンス収入に結びついた, 当該事務所の鑑定書によって他社権利排除に結びつけた, 当該事務所と連携して係争を和解に導いた)。[必須]
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④, ⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. アウトソーシング業務(特許事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:特許事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

特許事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において正しく(例:80%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:特許事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:特許事務所)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)B.特許事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、特許事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の事務所の使い分け)のための情報収集(例:事務所の経営方針、所長、得意分野、コンフリクトの有無、専門分野の人材の豊富さ、報酬・案件相場、年間処理件数、秘密情報管理体制、事務・期限管理体制、品質、評判)／企画／実施(例:出願、中間処理等の依頼)／評価(例:品質のチェック)を成功裡に行った。
2. 特許事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化、少なくとも月ベースの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:戦略上重要な特許を当該事務所と連携して権利化に成功した、当該事務所経由の権利がライセンス収入に結びついた、当該事務所の鑑定書によって他社権利排除に結びつけた、当該事務所と連携して係争を和解に導いた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④、⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. アウトソーシング業務(特許事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:特許事務所への戦略的アウトソーシング、進捗管理、コスト管理、品質管理)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

特許事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において正しくかつ流暢に(例:90%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:特許事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:特許事務所)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)C.法律事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 企業戦略・知的財産戦略に沿って、法律事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシングのための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)/企画/実施(例:法律相談, 契約書の作成, 訴訟遂行等の依頼)/評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 法律事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認等)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追及及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(法律事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:法律事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

法律事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:法律事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)C.法律事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 企業戦略・知的財産戦略に沿って、法律事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシングのための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:法律相談, 契約書の作成, 訴訟遂行等の依頼)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 法律事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認等)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追及及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(法律事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:法律事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の基本的な事項(例:重要なもののみ, 実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

法律事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において最低限の範囲で(例:50%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:法律事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)C.法律事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 企業戦略・知的財産戦略に沿って、法律事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシングのための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:法律相談, 契約書の作成, 訴訟遂行等の依頼)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 法律事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認等)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追及及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:当該事務所経由で交渉した結果、ライセンス収入／有利な条件での和解／ロイヤリティ支払額の低減に結びついた)。**[必須]**
2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(法律事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:法律事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

法律事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において概ね(例:60～70%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:法律事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:法律事務所)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)C.法律事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 企業戦略・知的財産戦略に沿って、法律事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシングのための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:法律相談, 契約書の作成, 訴訟遂行等の依頼)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 法律事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認等)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追及及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:当該事務所経由で交渉した結果、ライセンス収入／有利な条件での和解／ロイヤリティ支払額の低減に結びついた)。**[必須]**
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. アウトソーシング業務(法律事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:法律事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

法律事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において正しく(例:80%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:法律事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:法律事務所)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)C.法律事務所

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 企業戦略・知的財産戦略に沿って、法律事務所にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシングのための情報収集(例:事務所の経営方針, 所長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 報酬・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:法律相談, 契約書の作成, 訴訟遂行等の依頼)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 法律事務所への戦略的アウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事務所コストの管理(例:報酬の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認等)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追及及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:当該事務所経由で交渉した結果、ライセンス収入／有利な条件での和解／ロイヤリティ支払額の低減に結びついた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. アウトソーシング業務(法律事務所)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:法律事務所への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

法律事務所が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において正しくかつ流暢に(例:90%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:法律事務所)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:法律事務所)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)D.翻訳会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、翻訳会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 費用・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での明細書の翻訳依頼等)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 翻訳会社へのアウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 翻訳コストの管理(例:費用の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(翻訳会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:翻訳会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件の外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:翻訳会社)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:翻訳会社)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)D.翻訳会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、翻訳会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 費用・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での明細書の翻訳依頼等)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 翻訳会社へのアウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 翻訳コストの管理(例:費用の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(翻訳会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:翻訳会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の基本的な事項(例:重要なもののみ, 実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件の外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において最低限の範囲で(例:50%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:翻訳会社)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:翻訳会社)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)D.翻訳会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、翻訳会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 費用・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での明細書の翻訳依頼等)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。

2. 翻訳会社へのアウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。

3. 翻訳コストの管理(例:費用の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。

4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。

5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:戦略上重要な特許を当該事務所と連携して権利化に成功した, 当該事務所経由の権利がライセンス収入に結びついた, 当該事務所と連携して係争を和解に導いた)。[必須]

2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。

2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。

3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

4. 社内講師を担当した。

5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。

7. 社外委員会にメンバーとして参加した。

8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。

2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. アウトソーシング業務(翻訳会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:翻訳会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件の外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において概ね(例:60～70%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。

2. 関係者(例:翻訳会社)の説明を正しく理解することができる。

3. 関係者(例:翻訳会社)と連携し、協働できる。

4. 関係者に分かりやすく説明できる。

5. 関係者(例:翻訳会社)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)D.翻訳会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、翻訳会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 費用・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上での明細書の翻訳依頼等)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 翻訳会社へのアウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 翻訳コストの管理(例:費用の最小限化, 少なくとも月ペースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:戦略上重要な特許を当該事務所と連携して権利化に成功した, 当該事務所経由の権利がライセンス収入に結びついた, 当該事務所と連携して係争を和解に導いた)。[必須]
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. アウトソーシング業務(翻訳会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:翻訳会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件の外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において正しく(例:80%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:翻訳会社)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:翻訳会社)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:翻訳会社)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

アウトソーシング(2. 1. 6)D.翻訳会社

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略に沿って、翻訳会社にアウトソーシングする業務の仕分けを行い、戦略的アウトソーシング(例:複数の会社の使い分け)のための情報収集(例:経営方針, 社長, 得意分野, コンフリクトの有無, 専門分野の人材の豊富さ, 費用・案件相場, 年間処理件数, 秘密情報管理体制, 事務・期限管理体制, 品質, 評判)／企画／実施(例:NDAを締結した上で明細書の翻訳依頼等)／評価(例:品質のチェック等)を成功裡に行った。
2. 翻訳会社へのアウトソーシングに対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 翻訳コストの管理(例:費用の最小限化, 少なくとも月ベースでの確認)を成功裡に行った。
4. 納期日程・日程遅延の差異分析を行い、原因追究及び対策立案を行い、再発防止策を適切に講じた。
5. アウトソーシングに関するトラブル(例:例外的に高額な経費)について、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:戦略上重要な特許を当該事務所と連携して権利化に成功した, 当該事務所経由の権利がライセンス収入に結びついた, 当該事務所と連携して係争を和解に導いた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(④は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. アウトソーシング業務(翻訳会社)に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. アウトソーシングに関する実務(例:翻訳会社への戦略的アウトソーシング, 進捗管理, コスト管理, 品質管理)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

アウトソーシング業務に必要な技術の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件の外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において正しくかつ流暢に(例:90%程度)自己の意思(例:依頼内容)を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:翻訳会社)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:翻訳会社)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:翻訳会社)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。